

ベトナムの大企業税務管理改革 | 2025 年からの新体制と期待

2025 年 2 月 3 日 作成

カテゴリ ベトナム進出 税制

ベトナムの大企業税務管理改革 | 2025 年からの新体制と期待

ベトナムの財務省によると、2025 年 1 月 1 日より、大企業税務局が、国が指定する経済重要分野に従事する大企業やグループの直接税務管理を行うことを決定した。この決定は、党と国家の方針に基づき、世界各国の税務管理の改革の流れに沿ったものである。大企業税務局は、企業との連携を強化し、納税者中心のサービスを目指していく。2024 年 11 月 27 日、財務省は大企業税務局が管理する企業リストを発表し、これに基づいて大企業の税務管理が行われる。

大企業税務局は、納税者データの処理や税務義務の確認を行い、2025 年 1 月 1 日までに必要な手続きを完了させることが求められている。大企業税務局の副局長であるマイ・ソン氏は、企業の協力に感謝しつつ、今後も改革を進める意向を表明した。マイ・ソン氏は、大企業への直接的な税務管理が、特に多くの地方で活動する大企業に対して統一的な管理を実現し、国家収入への貢献を強化することになると強調した。

また、ベトナム各地方税務局には、データ更新や税務調査を完了させることが求められ、これらの作業は 2024 年 12 月 31 日までに終了する必要がある。さらに、大企業税務局は地方から引き継いだデータや資料を適切に管理し、新たな体制の下、運営を開始する。

今後、大企業にはさらなる成長と革新が期待されており、国の経済発展に寄与する役割が求められる。大企業税務局は、税務管理の効率化とデジタル化を進めることで、より効果的なサービス提供を目指す。最終的には、企業と共に課題を乗り越えながら国家予算への貢献を強化していくことが重要である。

以上